

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

観賞用の逸出や遺棄したものが野生化したと考えられています。鹿児島県では一般防除種に指定され、奄美大島で確認されています。胎生種で繁殖力が強く、在来種を駆逐するおそれがあります。観賞用に飼育している場合は、最後まで責任を持って飼い続け、途中で捨てないようにしましょう。奄美群島などでは、水温が高く定着しやすいため、特に注意しましょう。

1 基本情報

分類

目・科名	カダヤシ目カダヤシ科	
種名(亜種名)	ソードテール	
学名	<i>Xiphophorus hellerii</i> (グリーンソードテール)	
環境省カテゴリー	その他の総合対策外来種	
県カテゴリー	一般防除種	
由来	国外由来外来種	

侵略的外来種番付表	前頭(島嶼)
番付表掲載の理由	県内の生態系等に大きな影響を与える又は与えるおそれのある外来種
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—

侵入・定着の状況

自然分布域	中米(メキシコ南部～グアテマラ)
県内初報告	不明
県内への侵入の経緯	観賞用個体の逸出、遺棄されたものの野生化
県内の侵入分布	奄美大島
全国の侵入分布	山梨県、奄美大島、沖縄島、久米島

生態学的特性

生態	食性は雑食性で、小型の水生動物、植物質の餌を食べる。 幅広い水域に生息し、原産地では汽水域にも生息する。
形態	体長はオスで5cm、メスで7cm。原産地では15cmほどになるとされている。原種のオスはダークグリーンの地にオレンジがかった赤色の帯が、目の後から体中央を通して尾の付け根まで入り、尾びれの下縁の剣のようにのびた部分も、体色の赤い帯と同じ色をしている。メスの体色もオスとほぼ同じ。
繁殖形態	卵胎生で、メスは卵ではなく直接子魚を産む。
生息環境	幅広い水域に生息し、特に水草が多い場所を好む。
特記事項	—

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などの捕食。胎生種で繁殖力が強く、在来魚類を駆逐するおそれがある。
県内で特に予想される被害	小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などの捕食。在来魚類の駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①高い繁殖能力。小型の魚類、水生昆虫などの捕食。在来魚類の駆逐。 ②観賞用の逸出、遺棄されたものの野生化。
3 対策	
ソードテールを見つけたら	観賞用で飼育している場合は、最後まで責任を持って飼い続け、途中で捨てないようにしましょう。奄美群島などでは、水温が高く定着しやすいため、特に注意しましょう。
見分け方	在来種であるミナミメダカより大型になり、体高が高い。オスの尾びれは、剣のように見えるため区別しやすい。ミナミメダカの全長は最大4cmと小さく、尾びれが角張っており、尻びれも広い。
見かけやすい場所・時間	活動時間は日中。やや流れのある河川、水田地帯もしくは、緩やかに流れる用水路。
防除方法	タモ網やモンドリ、小型の四つ手網による防除。
防除の取組事例	奄美大島自然保護協会では、奄美大島の河川で外来の淡水生物の調査と防除を行っている。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/50260.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 南海日日新聞 2015年9月24日記事 http://www.nankainn.com/a-and-p/%e5%a4%96%e6%9d%a5%e6%b7%a1%e6%b0%b4%e7%94%9f%e7%89%a9%e3%82%92%e6%8d%95%e7%8d%b2%e8%aa%bf%e6%9f%bb%ef%bc%8f%e3%82%b9%e3%83%83%e3%83%9d%e3%83%b3%e3%82%84%e3%82%bd%e3%83%bc%e3%83%89%e3%83%86%e3%83%bc 瀬能ほか(2008)日本の外来魚ガイド. 文一総合出版社. 東京